

令和4年度



5月 えんだより

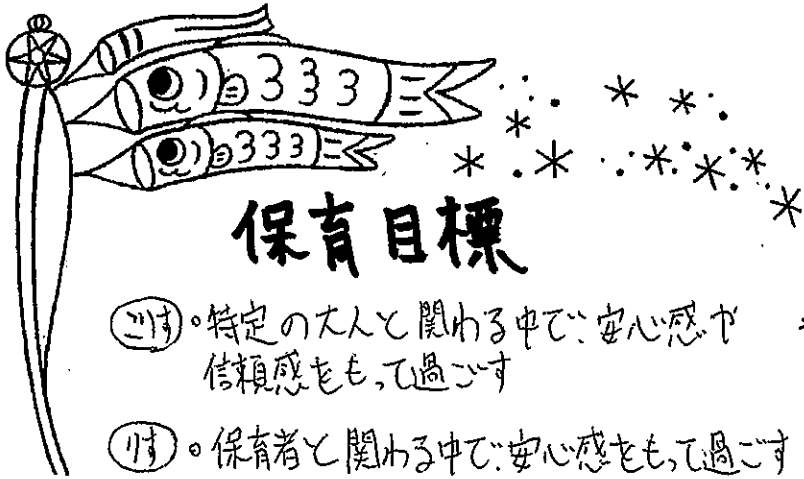
洛北幼稚園

TEL 075-491-0457

FAX 075-491-0480

一時保育 075-491-0470

鯉のぼりが悠々と泳ぐ五月晴れの青空と、日に日に成長していく草木の緑がとても気持ちの良い季節になりました。子ども達は、鴨川や植物園に行き、元気に体を動かして遊んだり、自然の変化を楽しんでいます。また、慣らし保育中に聞こえていた乳児クラスの子の泣き声も、1か月が経ち、楽しそうな笑い声に変わってきています。慣らし保育期間のご協力、ありがとうございました。



保育目標

- ① 特定の大人と関わる中で、安心感や信頼感をもて過ごす
- ② 保育者と関わる中で、安心感をもて過ごす
- ③ 戸外で全身を使って遊ぶ
 - ・簡単な身の回りのことも、保育者と一緒に行ってみる
- ④ 自然物に触れ、興味、関心を広げる
 - ・身の回りのことを保育士に見守られながら自分でしようとする
- ⑤ 身の回りのことを自分でする習慣をつける
- ⑥ 自然物に興味を持ち、調べたり観察することを楽しむ
 - ・好きなあそびを見付け、じっくりあそぶ
- ⑦ 友達と食べることを楽しむ



行事予定

18日(水)にこころガーデン

お知らせ

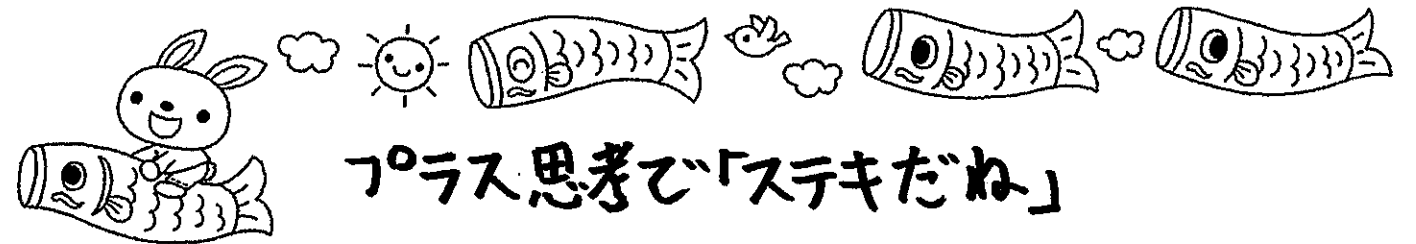
ホームページが新しく raku-hokuyouji.net (<https://raku-hokuyouji.net/>) になっています。

園だよりや献立、各種書類様式等は、こちらをご覧ください。

7月の第二土曜日に職員が救命講習を受講するため、お弁当日が第二土曜日に変更となります。第一土曜日は給食です。ご了承ください。

絵本の紹介 「いいこってどんなこ？」 ジーン・モデシット文 ロビン・スポーツ絵

うさぎの子どもがお母さんに「いいこってどんなこ?」「なかなかいいこなの?」「おこっているほくなんが、きらいでし?」と様々な質問をします。母うさぎは、全てを優しく肯定した上で、「あなたらしくいてくれるのかいちはんよ。だって、いまのあなたがたいすきなんですもの。」と答えてくれる。というお話です。親の願いや、子どもの成長を求める中で、見えないがちな子どものあるがままの姿を認め、受け止めていく事の大切さ、を思い出させてくれるお話です。保育園にもあるので、ぜひ読んでください。



プラス思考で「ステキだね」

ご紹介した「いいこってどんなこ?」、本当は、絵本の様に思っていたり、思っていたのに、子育てや家事、仕事に追われて余裕が無くなってしまったり、一生懸命なおまじりに、行方してしまい、後で反省する事も多いのが子育てではないかと思えます。

そんな時にしてほしいのが、「自分を褒める」という事です。脳科学者で、医学博士でもある高田 明和さんが著書の中で、「私たちがどのように思うかで月日は、どんどん配線を変えて、私たちがいつも思っているような月日になっていく」と書かれています。まずは毎日の子育て、家事、仕事、性格、全てを「エライ!」と褒めてあげてください。そして、自分の嫌な部分をプラスに言い換えてください(リフレーミング)。自己否定的な気持ちではなく、自分が好きになる自己肯定的な気持ち「自己肯定感」は、子どもにとってはもちろんの事、大人にも大切なのです。褒め上手になれば、心にゆとりが出来たり、子どもへの声の掛け方が肯定的になり、ときと、いい変化があると思えます。それは、子どもにも伝わるはずですよ。

先月にもお伝えしたように、今年度の保育テーマは、「ステキだね」です。自分の事も、相手の事も、あるがままに「ステキだね」と受け入れてもらえる事で、ますます自分を好きになる。そんな自己肯定感の輪を広げていければと思います。